



アカビタイヒメコンゴウインコ

Spring
2020

H I G A S H I Y A M A

ひがしやま 52

名古屋市東山動植物園情報誌

サーバルが来園しました

昨年12月に南アフリカ共和国から2頭のサーバルが来園しました。オスの「ルイ」とメスの「アイ」が現在、本園食肉小獣舎しょくにくしょうじゅうしゃで公開中です。(写真はメスのアイです。)すらりと伸びた長い足と大きな耳とくちょうてきが特徴的なサーバル。2頭ともまだ2歳なのですが、体つきはとてもしっかりとしていて、国内の動物園で飼育されているサーバルの中でもかなり体格がよい方だと思いますし、若いので動きも活発です。実際にご覧いただければサーバルの魅力みりょくを大いに実感していただけたと思います。ぜひ会いに来てください。

(飼育第一係 江口 雄作)



Contents

- | | |
|---|---|
| 00 動物園トピックス
「サーバルが来園しました」 | 07 東山動物園のレッドリスト動物Vol.16
「メキシコウサギ」 |
| 01 動物園長のエッセイ
「野生コアラ救済支援」 | 08 植物園長のエッセイ
「F1(エフワン)のはなし」 |
| 02 飼育レポート
「カンガルー、ワラビーの引越し」 | 09 植物管理人だより
「温室1年生!!」
「東山の森」 |
| 04 飼育だより | 10 植物園
「春の花だより」 |
| 06 動物病院日誌 Vol.51
「アカカンガルーの治療」 | 11 植物園トピックス
「「松ぼっくりでクリスマス飾りづくり」を開催しました」 |

表紙／アカビタイヒメコンゴウインコ

その名のとおり額の赤い羽毛が特徴的なインコ。東山動植物園では過去に何度か繁殖めったして、現在7羽飼育していますが、日本の動物園では滅多にお目にかかれません。

(撮影／茶谷 公一・文／江口 雄作)

東山動物園サポーター募集中!!

動物園サポーター制度は、動物たちが豊かで充実した生活を送ることができるように、飼育環境改善や動物福祉などを資金面からご支援いただくものです。

サポーターの区分と金額	個人	大人 3,000円以上 中学生以下 1,000円以上	サポーターの方に動物や東山動物園をもっと知っていただくために…	① 動植物園情報誌「ひがしやま」をお送りします。(4回) ② サポーターの方を対象にサポーター限定イベントを開催します。
	法人・団体	10,000円以上		

個人10,000円以上、法人・団体50,000円以上で支援いただいたサポーターは、氏名、法人・団体名を園内に掲示することができます。

申込方法

- | | |
|---------------------|--|
| ① 動物園内で手続きをしていただく場合 | 動物会館図書室で申込書を記入の上、寄付金をお支払いください。 |
| ② 郵便振込で手続きをしていただく場合 | 振込用紙をお送りしますので、動物園サポーター事務局までご連絡ください。
サポーター事務局／公益財団法人東山公園協会 動物会館 TEL052-782-2111(内線340) |

昨年9月から続くオーストラリア南東部における長期の干ばつと森林火災は、人・家屋・森林だけでなく、野生生物にも壊滅的な影響を与えました。その規模はニューサウスウェールズ州周辺だけでも5万km²もの森を焼失させ、数億もの野生動物が被害を受けたとされています。動きの速いカンガルーや飛んで逃げることのできる鳥に比べて、樹上生活に適応していて地上では動きの遅いコアラが、立ち往生するしかなかったことは想像に難くありません。この影響により、同州のコアラは生息数の3分の1が死亡したとされています。

コアラは、エサやすみかとなるユーカリの森林を好みます。ところが、ユーカリの葉は油分を多く含むため、条件によっては火が付きやすい特徴があります。オーストラリアではこれまでも限定的な火災はたびたび発生していましたが、これほどの規模は想定外であったようです。2月初めに大量の雨が降ったことで鎮火が進みましたが、火災現場の燃えかすが直接河川に流れ込むことによる水質悪化により、水生の野生生物であるカモノハシやカエルなどへの二次的な被害が懸念されています。今後オーストラリア政府は森の再生など、早急な支援を必要としています。

こうしたなか、日本で初めてコアラの飼育展示を行った東山動植物園は、シドニーのタロンガ動物園と姉妹動物園というご縁もあり、広く募金を呼びかけましたところ、多くの支援が寄せられました。野生動物の生息地支援は動物園・水族館の大切な社会的使命の一つです。タロンガ動物園はこの度の災禍によるコアラをはじめとする野生動物の危機を救うため、パートナーであるサイエンス・フォア・ワイルドライフと協力して、コアラを始めワラビー、ハリモグラ、カモノハシ、オオコウモリ、魚など被災した野生動物を緊急的に保護し、治療やリハビリを行なっています。被災コアラは現在、12頭が保護されているということです。

皆さまから寄せられましたご厚意はすべて「タロンガ基金」に贈ります。皆様のあたたかいご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

(動物園長 黒邊 雅実)





カンガルー、 ワラビーひっこの引越し

1 はじめに

旧カンガルー舎は、1977年のオーストラリアフェア（開園40周年）開催に合わせて新築された施設で、オーストラリアからオオカンガルー、アカカンガルーなどが新たに来園したことをきっかけにここでの飼育が始まりました。それから40数年がたち、「アジアの熱帯雨林エリア」整備に伴う工事のため取り壊されることになり、ここで飼育されていたアカカンガルーは前ソマリノロバ舎（旧ボンゴ舎）を改修した施設に引越すことになりました。



旧カンガルー舎

2 引越しまでの流れ

アカカンガルー14頭（オス7頭、メス7頭）とベネットアカクビワラビー5頭（オス3頭、メス2頭）の引越しが必要でした。準備として、輸送箱の選定と輸送方法、時期と時間、協力作業にかかる人員など、動物たちの安全と作業者の事故防止のためにシミュレーションをしました。

その結果、アカカンガルーのオス4頭は大きいので木製の輸送箱、他の個体は特大、大、中の3タイプのバリケンネルを使用することとしました。引越しの時期は2回にわけて休園日に行うことにし、5月7日（火）に小さめのカンガルー10頭とワラビー5頭を引越し、次週の5月13日（月）に残りのカンガルー4頭を引越すこととしました。



木製輸送箱

3 引越し

<一日目>

引越しの前日、隔離室に数頭ずつ分けておき、当日の朝にエサで1頭ずつ誘導してバリケンネルに入れ、軽トラックを使って新しい施設へピストン輸送しました。捕獲は担当者だけで行い、輸送、新施設への放養と見張り、観察は、他の動物の担当者に応援をお願いしました。

当日の朝、まずワラビーを捕獲、輸送し、新しい施設に入れ、様子を見ながら次にカンガルーの作業を始めました。順調に引越しが進み、トラブルも無く予定していた移動ができました。一日目の引越しは午前中で終了とし、午後は新施設で動物を観察しました。

数頭の神経質な個体が少し走り回ることがありましたが、フェンスに激突することもなく、みな落ち着いてくれました。でも、少しの音で耳をピクピクさせていたので、とても警戒していたようです。次の引越しまでカンガルーは2ヶ所での飼育となりましたが、旧施設に残されたカンガルーたちも動揺せず生活をしていました。

<二日目>

次の休園日、残りのオス4頭の引越しです。今回は2頭を隔離し、残り2頭はエサで誘導して収容する予定でしたが、大きいオスはエサでの誘導がうまくいかず、班員6名で少し追い込んで収容することになりました。

軽トラへの積み込み及び輸送、放養、観察は前回同様、協力して行いました。4頭は大きいので、輸送箱も大きく重く頑丈なものを使用する必要があったため、大勢の協力が必要でした。

新しい施設に先客のメスたちがいたおかげか、輸送箱から出る時に少し手間取ったものの、箱から出た後はみなすぐに落ち着いてスナリと群れに合流出来ました。



新施設に出るワラビー



新施設でケージから出るカンガルー



オスカンガルーの積載



新施設に出たオスカンガルー

4 引越し後

動物たちは落ち着いており、すぐに新しい獣舎になれてくれましたが、ウォークスルー内のフェンスが低いため、飛び越えてしまう心配をしていました。カンガルーは飛び出すことはしませんでした。心配していたとおり、ワラビーは引越し翌日の朝に早速観覧通路に出ていました。また、彼らは担当者の目の前で、助走もなく垂直飛びで飛び出して行くこともありました。そのため、低いフェンスにワイヤーを張るなどの改修を実施しました。



改修前



改修後

5 おわりに

今回の引越しは、動物たちも私たち飼育員も事故なく安全に実施できました。動物の捕獲に麻酔も使用せず無理なく移動ができ、予定より早く引越しが完了しました。これは準備と協力のたまものだと思います。何よりカンガルーたちが大人しく、落ち着いており、人なつこい個体ばかりだったのが幸いです。歴代の飼育担当者がならしてくれたおかげだと感謝しています。

現在カンガルー、ワラビーたちはゆったりと過ごしています。夏場は日陰を求めてそこで寝そべっていますし、冬場は陽の当たる場所を求めてそこで寝そべっています。旧獣舎よりも身近に見えると、見やすくなったとかお客様からお声を頂いています。少し運動場は狭くなった感はあるのですが、カンガルーたちはあまり気にせず、新しい獣舎になじんでいます。



のんびりくつろぐカンガルー

(飼育第一係2班 木村 勝)



飼

育

ヤシオウム、今年は少し違うんです

コアラ舎前にあるインコ舎。様々な種類の鳥たちが暮らしており、ニューギニア鳥やオーストラリアに生息するヤシオウムのオス1羽とメス1羽もここで暮らしています。

長年、オスとメスは別々に過ごしてきたのですが、今シーズンは少し様子がちがいます。お互いに色とりどりの鳴き声で呼び合い、羽を広げてアピール合戦。

これかと思ひ、12月から時折ペアリングを開始。以前のペアリングではただただ怖

がるメスでしたが、今回は怖がりながらも動き回るようになりました。1月末時点では常時同居はしていませんが、これからはお互いの関係性を良くさせて通年同居を目指していきます。

今後のヤシオウムたちの暮らしの変化を楽しみにしてください。



飼育第一係1班
野村 勇治

アクシスジカの角のお話

とある日の朝、いつものようにシカたちの様子を覗いてみると…おや?何か変じゃない?角が!新年早々片角が落ちたオスのセミロング、2020年を新たな気持ちでスタートするみたいで何か縁起が良さそうな気がしてしまいます(笑)。と、このようにアクシスジカのオスは角が毎年生え変わります。去年の10月から現在までに落ちた3頭の角を比べてみましょう。左の1番大きな角はロングストJr.のもので、長さが約70cm、

重さは1本1kgもありました。ちなみに真ん中がマッチョ、右がセミロングのものです。残り2頭の立派な角も春頃までには落ち

ると思います。落ちたて、の伸びかけ(袋角)、完成形(枝角)の角をぜひ見比べに来てください。



飼育第一係3班
小林 瑛理子

冬のユーカリ

東山動植物園で飼育しているコアラは主に暖かい気候で育つユーカリを好んで食べます。そのユーカリは名古屋の冬の寒さにあたるとう新芽が焼けて(茶色く変色して)しまいます。焼けた新芽は餌として使用できないため例年12月頃に出荷ができなくなります。

しかし今年の冬は暖かくユーカリの新芽が1月に入っても焼けていません。まだ見た目からもきれいな葉をしていて美味しそうな新芽です。まだまだ伸長し続けている品種さ



寒さで焼けた新芽

えあります。今年の冬は露地の硬い葉のユーカリとハウスの柔らかい葉のユーカリを合わせて出荷できるので、コアラはいつもよりバリエーションのある食事となるので喜んでいと思います。コアラにとってはいい冬になりました。



今年の新芽



飼育第一係4班
氏家 雅人

ジャランジャランで 会いましょう♪

北園のオランウータン舎には、『ネオ』と『アキ』2頭のメスのスマトラオランウータンがいます。

ネオは観察力がとても鋭く、50歳の経験から得た知識も加わった賢さがあります。例えば格子越しにエサや物を受け渡すときは、格子の間隔に合わせて向きや角度を調整していますし、おやつに入った消防ホースをわざと縛って渡しても慎重にほどいていきます。几帳面で落ち着いてい

る感じです。それに対してアキは基本的に力任せなタイプで、消防ホースもほどどころか逆に締めてしまし、格子の間隙から渡したダンボールも引っかかると力づくで引っ張り破れる始末。こんな書き方だとアキのいいとこって…。ご心配なく!アキの素直さや表現が豊なところは見ていて癒されます。どちらも魅力たっぷりです♪

そんな姿を見て頂きやすいのが『ジャランジャランデッキ』です。午後1時30分頃からデッキの上でエサを与えていますので、すぐ近くで食べる様子などを見ることができます。動物園サポーターの皆様のご支援のおかげです。

今日はネオかアキのどちらが運動場に出ているかなと予想しながらオランウータン舎にも足を運んで頂けたらと思います。



飼育第二係1班
山岸 景子

プチ引越しの後で

自然動物館の夜行性動物コーナーの中でヨツユビハリネズミとフクロモモンガが、昨年末に近く展示室に引越ししました。ヨツユビハリネズミは、皆様から見える距離が少しだけ離れ、フクロモモンガは少しだけ近くなりました。室内展示室で暖かいのですが、冬の気温低下に伴い寒い日は室内でも少し温度が下がることになりました。そのため、動物の動きにも違いが出ました。



ヨツユビハリネズミは、引越しして数日以前のように活発に活動しているのですが、フクロモモンガはほとんど巣箱の中で丸くなって寝ています。春になって暖かなればまた活発になると思いますのでみなさん温かく見守ってくださいね。

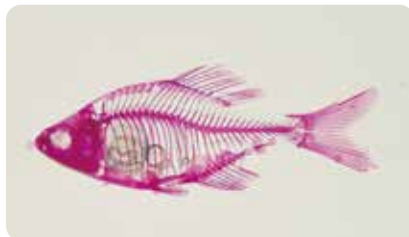


飼育第二係2班
安藤 和典

魚たちの 第二の人生

世界のメダカ館では、死亡したメダカや魚は研究や環境教育に活用するため、標本として保存することがあります。その中で、骨格の構造を詳しく調べるために体を透明化して生きていた状態と同じような形で観察できる標本があります。これを透明骨格標本といいます。死んだ魚はそのままにしておくとすぐに腐ってしまい、骨はバラバラになってしまいますが、透明骨格標本として保存しておく、いつまでも魚の形を

保ったまま骨格の詳しい構造などを保存することができます。体を透明化するにはとても手間のかかる作業をしなければなりません、わたしが作成した標本をみなさんに見ていただく事で、すでに死亡してしまった個体でも第二の人生として、展示や環境教育用に役立っています。世界のメ



タイリクバラタナゴの透明骨格標本

ダカ館では、色々な種類の透明骨格標本を展示しています。ぜひ見に来てください。



透明骨格標本展示コーナー



飼育第二係3班
水野 展敏

カンガルーの仲間(オウバ)の生え変わりが独特です。成長とともに親知らずのような臼歯が前方へゆっくりと移動してきて生え変わる「水平置換」とよばれる仕組みです。ゾウの仲間も似たように水平置換で生え変わりますが、カンガルーでは前方の臼歯では歯の下から生え変わる歯もあります。その独特な生え変わりの影響も少しあるかもしれませんが、歯肉の部分に細菌感染が起こりやすく、歯肉だけでなく顎の骨も感染を起こして、その結果、顎や頬が腫れてしまいます。この病気はカンガルーの病気の中でも特に頻度が多いため、カンガルー病とも呼ばれています。

ある日、アカカンガルーの雄個体の右頬が腫れているということで飼育員から連絡がありました。顎や頬が腫れるというのはカンガルー病のよくある症状のひとつなので、くわしく検査をすることにしました。ただ、その個体は体重50kg以上の大きな体であまり人に馴れていなかったもので、注射による全身麻酔をかけて検査をしました。

麻酔下でよく患部をみてみるとカンガルー病とは少し様子が違いました。その個体の歯や歯肉、顎には問題が無さそうで、腫れている皮膚の下に少しの膿と多くのガスが貯まっていた。おそらく



処置前右頬の腫れがある

▲麻酔をかけて検査・処置をしている写真



壊死した皮膚を取り除いてできた欠損部

皮膚の小さな傷から感染した細菌が皮膚の下で増殖してガスを産生したのでしょう。その影響で腫れている部分の皮膚の血流が悪くなり壊死を起こしていました。この傷にどういう処置をこれからするべきか考えました。一度壊死してしまった皮膚は細胞が完全に破壊されているため元には戻りません。そればかりではなく、それ自体が細菌のすみかになってしまい治りませんので、壊死している皮膚を取り除くことにしました。すると大きな皮膚の欠損部ができてしまいました。包帯を巻いたとしてもカンガルーの前肢にある鋭い爪ですぐに取ってしまうと考え、思い切って傷口にワセリンや抗生物質が入った塗り薬を塗るだけでそのままにしておくことにしました。

それに加え、毎日吹き矢で抗生物質の注射をしました。細菌感染の再発が心配されましたが、そんな心配をよそに傷口の周りから新しい皮膚ができてきて



だんだんと傷口が小さくなってきました。その結果2週間経ったころにはほとんど傷口が目立たなくなり、思った以上に早く治ってしまいました。

今回はこの治療方法で治りましたが、行った治療法が最善だったかどうかは後になっても良く考えます。飼育している施設や動物の大きさ、性格などによっても変わるので、その時々でどういう治療を行うのがベストかということ日々考えながら治療しています。

(指導衛生係 佐藤 康弘)

【動物取扱業登録】

名称:名古屋市、事業所の名称:名古屋市東山総合公園、事業所の所在地:名古屋市千種区東山元町3-70、動物取扱業の種類:展示、登録番号:第0701027号、登録年月日:2007年6月1日、登録の有効期間の末日:2022年5月31日、動物取扱責任者:黒邊 雅実

レッドリストとは、IUCN(国際自然保護連合)が1986年から刊行している世界で絶滅の恐れがある野生生物種のリストです。2019年3月においては9,013種が「絶滅の恐れのある動物種(脊椎動物)」として掲載されています。

メキシコウサギ

分類：哺乳綱 ウサギ目 ウサギ科 メキシコウサギ属
 学名：*Romerolagus diazi* 英名：Volcano rabbit
 分布：メキシコ合衆国



EN

1982 IUCN
レッドリスト

絶滅種 (EX/EXTINCT)	絶滅が確認された
野生絶滅種 (EW/EXTINCT IN THE WILD)	野生では絶滅した
絶滅危惧IA類種 (CR/CRITICALLY ENDANGERED)	絶滅寸前の状態にある
絶滅危惧IB類種 (EN/ENDANGERED)	近い将来絶滅する恐れが高い
絶滅危惧II類種 (VU/VULNERABLE)	絶滅の恐れが高い

ウ サギの仲間では原始的な種のひとつで、アマミノクロウサギと同様に生きた化石といわれている。メキシコだけに分布する固有種で、現地では「テポリンゴ」と呼ばれている。黒褐色の被毛に覆われ、耳が丸く、体重は500g程度で、世界では2番目に小さなウサギである(最小は北米のピグミーウサギ)。メキシコ市近郊にある火山周辺の亜高山帯(標高2,900~4,250m)にある、高い松林のある草原地帯に生息する。「サカトン」と呼ばれるイネ科植物はメキシコウサギにとってなくてはならないもので、餌とするほか隠れ家や巣に利用して暮らしている。

家 畜の放牧によってサカトンの草原が競合してしまったことにあわせ、メキシコ都市圏の人口は2,000万人を超えるまでに増加したことから、多くの草原が宅地化されて生息地が著しく減少した。現在の個体数は約7,000頭程度とされている。繁殖は、家畜の「カイウサギ」とは異なり極めて難しく、とくに出生子の死亡率が高い。1980年に(財)実験動物研究所が実験室内繁殖に成功し、その技術がメキシコ市のチャプルテペック動物園に導入された。世界ではイギリスのジャージー動物園やベルギーのアントワープ動物園などで繁殖を試みたが、いずれもうまくはいかなかった。東山では2012年8月にチャプルテペック動物園と姉妹動物園提携し、その翌年に10頭を譲り受けた。展示運動場には、サカトンと近縁のイネ科草類で草原を模したところ、2013年に国内動物園では初めての飼育下繁殖に成功した。これまでに21頭が産まれているが、若齢での死亡が多く、国内繁殖個体は残り2頭のみとなっている。今後、安定した継代繁殖の確立が課題である。

(動物園 茶谷 公一)

F1 (エフワン) のはなし

みなさんは、F1 (エフワン) という言葉をご存知でしょうか。モータースポーツの最高峰? 20歳から34歳の女性を指す記号? どちらも違います。F1は生物学用語で、雑種第一代 (first filial generation) を意味しています。今回は植物の種子のお話をさせていただきます。

最近の野菜や花の種子は、雑種第一代の性質を利用したF1種子が増えてきました。遺伝子は近親交配を続けると遺伝子の配列が固定されていく一方、環境変化への適応力が弱くなり、逆に、異なる系統の交配では、強勢となる傾向が現れます。この性質を利用して、野菜の固定種に生育が旺盛な野生種を掛け合わせ、病気に強い野菜を作ったり、収穫量を増やすための改良を行っています。

別嬪 (べっぴん) 揃いのF1品種ですが、このF1品種の種子から育てた種子を繰り返し撒いてみるとうなるとでしょうか。残念ながら、その種子から育てた植物は、遺伝子が元の性質に戻って野性味のあるものになってしまったり、環境に適応しなかったりして、立派な花や実を付けるものはごくわずかになってしまいます。

先日、15歳で種苗会社を起業した、小林宙 (こばやしそら) さんが書いた「タネの未来」(家の光協会) という本を読みました。小林さんは、昔から栽培が続けられている各地の伝統野菜に興味を抱き、連続と栽培されてきた在来種の種子がこれからも残されて行くようにと、中学生の時に種屋さんを始めました。

賀茂なす、加賀太きゅうり、練馬大根などは全国的に有名な各地の伝統野菜ですが、名古屋市でも「あいちの伝統野菜」である愛知大晩生キャベツ、野崎2号白菜、大高菜、八事五寸にんじんなどが、今も栽培されています。また、花き(観賞用の植物のこと)の品種では、名古屋ちりめん葉牡丹(はぼたん)が栽培されてきました。名古屋ちりめん葉牡丹には、茎が長く伸びる性質の切花用の葉牡丹と、茎が短い花壇用の葉牡丹があります。どちらの葉牡丹も、市内で栽培する農家さんは無くなってしまいましたが、花壇用の名古屋ちりめん葉牡丹は、中川区にある名古屋市立西養護学校の皆さんが栽培や採種を続けています。

名古屋ちりめん葉牡丹の他にも、この地域には、名古屋朝顔、中京地方の椿品種群など、古くから栽培されている在来種がたくさん残されています。「人と自然をつなぐ懸け橋へ」を目標に、動植物園の再生を進める当園として、地域の品種群の継承について応援することは、重要な役割ではないかと思います。

(植物園長 谷口 茂弘)



伝統野菜(八事五寸にんじんと大高菜)の種子



名古屋ちりめん葉牡丹(花壇用)



植物管理人だより

温室1年生!!

はじめまして、2019年4月から温室の担当になりました温室1年生の熊崎です。昨年までバラ園を中心に植物園の外回りを担当していました。温室に入って驚かされたことはどの植物も個性豊かなことです。前号にもありました2種類の役割の葉を持つ「ピカクシダ」をはじめ、空気中の湿気を取り込む気根を持つ「ノラ



パラボラチョ(蕾の様子 その1)



パラボラチョ(蕾の様子 その2)

ンティア」、葉っぱが紙やすりのような「サンドペーパーバイン」、色がとっても鮮やか!でも花びらではない「ブーゲンビレア」、世界で一番美しい花と言われる「ムクナ」、見た目はアロエにそっくり!でもまったくちがう「アガベ」など、温室内の植物たちも魅力に溢れています。まだまだ知らないことばかりの私ですが、今後も植物たちの魅力の一つでも多くお伝え出来たらと考えています。まもなく温室1年目が終わります。只今、温室2年目にむけて準備中。

最後に、写真は2019年10月下旬～

11月上旬に咲いた「パラボラチョ」の開花の様子です。蕾からは想像もつかない変わった花を見た時の驚きは、いまでも鮮明に覚えています。



パラボラチョ(開花の様子)



指導園芸係
熊崎 貴祥

東山の森

東山植物園の開園は1937年(昭和12年)3月3日桃の節句で、戦前に開園した数少ない植物園です。そのためそれ以前から大きく開発されていない森が今でも引き継がれています。

地域の植物を知ってもらうため、また地域の植物を守るために園内には湿地園があります。この湿地園は自然の水が枯れ



コシダの群生 星ヶ丘門から梅林への道

ることはありません。東山の標高は100m程で高い山ではありませんが、いったいどこに水を蓄えているのでしょうか?

東山の森を歩くと「コシダ」「ウラジロ」の群生をよく見ます。実はこのシダの堆積層がしっかりと水を蓄えているのです。

「コシダ」*Dicranopteis linearis* はウラボ科のシダ植物で、本州(福島県、新潟以西)、四国、九州、沖縄の日当たりのよい乾燥した所に群生します。園内では星ヶ丘門から梅林へ続く道沿いに群生が見られ、近くで観察することができます。

「ウラジロ」*Gleichenia japonica* は「コシ



ウラジロの群生 東海の森入口から常夜灯への道

ダ」と同じくウラボ科のシダ植物で、自生地域も同じですが、より日陰で湿気たところを好みます。園内では東海の森の入口から常夜灯の辺りで観察できます。

園内の森には多くの群生があり、このシダ達によって東山の森の水分バランスが保たれています。落葉した森はこのシダ達が輝く季節です。森の中をそっと覗いてみてください。シダの美しく生きる姿を見ることができますよ。



東山の森の中のウラジロ群生



緑地造園係
市野 実

アオキ 学名: *Aucuba japonica*

信号機の‘進め’の色は緑色?でも青信号と言いますね。古代の日本語では「緑」は「青」という言葉の中に含まれていたようです。アオキは小枝も幹(樹皮)も緑色、そのため名前に「アオ」が入っています。日陰でもよく生育する植物で、大きめの葉が印象的ですが、冬の光沢のある実も美しく、斑入り品種も人気があります。



冬に実が赤くなる



斑入りのアオキも人気

雌雄異株の植物

多くの動物のように雄と雌の個体に分かれている植物があるのをご存知ですか?

一つの花に‘おしべ’と‘めしべ’を持つ、すなわち雄と雌の両方の機能を持つ花は「両性花」と言いますが、一方しか持たない花は「雄花」「雌花」と言います。雌雄異株の植物は「雄花」だけを咲かせる雄株と「雌花」だけの雌株の個体があるのです。自家受粉することなく異なった遺伝子を持つ他の株の花粉を受精して、より多様な遺伝子を持つ強い子孫を残す戦略と考えられています。

アオキもそのひとつ。3月～4月上旬に雄株、雌株とも花をつけますが、「雌花」と、「雄花」は写真のようにその姿が違います。花の頃に植物園内のアオキを観察してみてくださいね!



雌株のアオキ(雌花)



雄株のアオキ(雄花)

「松ぼっくりでクリスマス飾りづくり」を開催しました

令和元年12月21日(土)・22日(日)に「松ぼっくりでクリスマス飾りづくり」のイベントを開催しました。毎年恒例となりつつあるイベントですが、今年は例年の会場である植物会館が工事で使えなかったため、急ぎよサガロ温室での開催となりました。



準備万端!



色とりどり、形も様々な材料

松ぼっくりに木の実、花、葉などをボンドで自由に貼り付け、クリスマスにピッタリの飾りを作りました。子供向けでしょ、と侮るなかれ。意外と大人も夢中になります。「お正月にも飾れそう〜。」という声も聞こえました。



個性豊かな作品たち



付け放題??

サガロ温室のシンボル、巨大サボテン「ベンケイチュウ」が見守る中、ガイドボランティアさんにもお手伝いいただき、100人以上のお客様にお楽しみいただきました!



ガイドボランティアさんも作ってみました



満員御礼!



ベンケイチュウ

みなさんが植物を身近に感じ、植物に興味を持ってもらうきっかけとなればうれしいです。次回の開催は未定ですが、またクリスマス頃にある?かも?お楽しみに!

東山動植物園 ＊北園＊

大観覧車

名古屋の街を
みわたそう



遊園地

ジェットコースター

風を切って
走る!



●営業時間 10:00～16:50 (のりもの券の発売は16:40まで) 営業時間を変更する場合があります。

★アトラクション	利用料金	★アトラクション	利用料金	★アトラクション	利用料金	★アトラクション	利用料金
☆ミラーハウス	120円	☆モノレール列車	240円	☆大観覧車	360円	☆くるくるキリン	240円
☆ふしぎたんけんの館	240円	☆フラワーストーム	360円	☆ハニービー	240円	☆スロープシューター	360円
☆メリーゴーランド	240円	☆くまさんコースター	240円	☆ビックリハウス	240円	☆フライングイーグル	360円
☆ティーカップ	240円	☆コアラ列車	240円	☆ニューバイキング	360円	☆ジェットコースター	360円

*1Dayパスポート・お得なチケット及びアトラクションの利用制限等、詳しくはホームページをご覧ください URL :<http://www.higasiyama.jp/>

Café North Garden

カフェ ノース ガーデン



●コアラソフト 各¥380(税込) ●コアラカレー ¥800(税込)
※()内はイートイン価格です。(各¥387)(税込) (¥815)(税込)

shop North Garden

ショップ ノース ガーデン



●めっちゃラブ チンパンジー
左(S)¥970(税込)
右(M)¥1,430(税込)



●ネコ科 スライドミラー
各¥490(税込)



●東山動植物園の動物カード
¥840(税込)

ひがしやま 51 号のクイズの答え

Q ネズミの切歯(門歯)は一生伸び続けます。
このような歯を何というでしょう。



- ① 永久歯
- ② 常生歯
- ③ 乳歯

A 正解は
② 常生歯
でした。

裏表紙/「はるか」 <Cerasus Sato-Zakura Group 'Haruka'> 「はるか」は、森林総合研究所多摩森林科学園が育成した新種の桜です。

2012年に福島県に寄贈され、女優の綾瀬はるかさんによって「はるかかなたの未来に羽ばたく」という願いを込めて、「はるか」と命名されました。福島県では、福島・東北を応援する復興のシンボルとなっています。(撮影・文/太田 幹夫)



‘はるか’ (里桜)

H I G A S H I Y A M A

Spring
2020

ひがしやま 52

名古屋市東山動植物園情報誌